

COP26 開会プレナリー

国連気候変動枠組条約 パトリシア・エスピノーサ
事務局長

スピーチ

(仮訳)

2021 年 10 月 31 日

仮訳

ご来賓の皆様

各国代表の皆様

ご列席の皆様

(この日を)ずいぶん長く待ちましたね。

喜びと熱意をもって、皆様を COP26 に正式にお迎えいたします。退任される COP 議長国であるチリ、特にシュミット大臣には、この 2 年間の困難な時期にリーダーシップを発揮してくださったことに感謝いたします。

次期議長国である英国とそのシャルマ大臣を正式に歓迎いたします。皆さんの協力に感謝し、COP26 の成功に向けて努力していきたいと思えます。皆様に申し上げたいのは、「おめでとうございます」ということです。この部屋にいらっしゃる方、オンラインでご覧になっている方、そしてこのプロセスに関わったすべての方にお祝いを申し上げます。

前回マドリッドでお会いしてからの 2 年間を振り返ってみてください。初期の混乱、パンデミック、そしてそれが私たちのプロセスにとって何を意味するのか。私たちが一緒に下した決断や、コミュニケーション技術を活用するために共に開発したスキルについて考えてみてください。

COVID-19 で亡くなった方々のことも考えてみてください。私たちは、今も苦しんでいる方々に心を寄せています。しかし、私たちが成し遂げたことも認めましょう。私たちはプロセスを継続し、パンデミックに邪魔されることなく、今の世代とこれからの世代が直面する最も重要な問題に対処してきました。

私たちがここにいるのは、皆さんと皆さんの活動のおかげです。心から感謝しています。その努力を無駄にしないようにしましょう。

スコットランドの詩人ロバート・バーンズがかつて書いたように、「今がその日、今がその時」なのです。

同僚である皆さま

私たちは今、歴史の中で極めて重要な地点に立っています。人類は、いくつかの厳しい、しかし明確

¹ 国連気候変動枠組条約(UNFCCC)事務局

<https://unfccc.int/news/remarks-by-unfccc-executive-secretary-patricia-espinosa-to-open-cop26>

な選択に直面しています。それは、地球温暖化を 1.5℃に抑えるという目標を維持するために、迅速かつ大規模な排出量の削減を達成するか、それとも人類がこの地球上で暗い未来に直面していることを受け入れるのか。

現在の異常気象災害に対処するための適応策を強化し、将来の影響に対処するための回復力を構築するのか、あるいは、より多くの人々が死に、より多くの家族が苦しみ、より多くの経済的被害が生じることを受け入れるのか。

従来通りのやり方(Business as usual)に、壊滅的な代償を払う価値がないことを認識し、より持続可能な未来への必要な移行を行うのか、あるいは、自らの絶滅に投資していることを受け入れるのか、といった選択です。

これは環境だけではなく、平和、安定、そしてすべての人々の幸福を促進するために私たちが築いてきた制度にも関わることです。このような理由から、私たちはここグラスゴーで前進しなければならないのです。

同僚である皆様

COP26 での成功は十分に可能です。成功が可能なのは、私たちが行動のための基盤を持っているからです。パリ協定は、人類にとって希望の誓いです。

気候目標を達成するために必要なものがすべて揃っています。しかし、その可能性を十分に発揮するためには、その完全な実施が必要です。そのためには、締約国は、あまりにも長い間、未完のままになっているパリ協定の下での作業を完了させなければなりません。

パリ協定を完全に実施できないまま 1 日が過ぎていくことは、無駄な 1 日であり、その積み重ねが世界中の人々、特に最も弱い立場にある人々に現実的な影響を与えています。

私は締約国に対し、これらの完全実施に向けて必要な作業をこの COP26 で完了するよう求めます。解決への道筋がわかっているからこそ、成功が可能なのです。

最近更新された国連の気候変動 NDC 統合報告書によると、温室効果ガスの排出量は増え続けています。これは悪いニュースです。良いニュースとしては、新規および更新された NDC を提出している国では、2030 年までに排出量が減少すると予測されていることです。

しかし、世界の排出量の約 80%を占める G20 の中でも特に排出量の多い国を中心に、すべての国がさらなる野心を持って取り組む必要があります。

また、パリ協定のもう一つの柱である開発途上国への支援も必要です。適切な支援があれば、排出

削減量はより大きくなる可能性があります。これは、先進国から途上国へ 1,000 億ドルを動員するという公約に関連するものです。

先週発表された資金提供計画は、終わりではなく、スタートと捉えるべきです。より詳細で具体的に行動することが重要です。しかし、はっきりさせておきたいのは、必要な支援がなければ、1.5 度目標を達成するために必要な変革に乗り出すことはできないということです。これは 1,000 億ドルの話だけではありません。何兆ドルもの資金を動員する必要があるのです。

適応策については、特に最も脆弱な国への資金援助を大幅に増やす必要があります。また、国別適応計画の策定と実施を加速する必要があります。

解決への明確な道筋は存在します。私はすべての締約国に対し、パリ協定の採択につながった多国間主義の精神を取り戻し、パリ協定の下での約束を果たすよう求めます。

科学があるから、成功が可能なのです。気候変動は広範かつ急速に進行しており、地球上のすべての地域に（陸と海の両方で）影響を与えていることは、データで明らかです。

しかし、ひとつの数字が他の何よりも際立っています。それは、今世紀末までに地球の気温上昇を 1.5°C に抑えなければならないというものです。しかし、IPCC、NDC 統合報告書、排出ギャップ報告書はいずれも、私たちがその道に進んでいないことを示しています。

私はすべての締約国に対し、COP26 での意思決定に科学を活用し、それに基づいて行動することを求めます。研究や統計はひとつの物語を語るものですが、私たちは数字を超えて、その数字が表す人間の生活に目を向けなければなりません。

私は、海面上昇の脅威にさらされている小さな島国を訪れ、将来に不安を抱く学校の子どもたちと話をしました。家庭で気候変動の重荷を背負っているにもかかわらず、家を出た途端に解決策の模索から締め出されてしまう女性たちと話をしました。また、暗い未来に苛立ちを覚える若者たちとも話しました。

彼らに共通しているのは、「仲間に入れてほしい」というメッセージです。彼らの言うとおりです。気候変動を地球規模の問題と捉えるのであれば、すべての人を巻き込むことが、このプロセスの土台となるはずです。

COP26 では、すべての声や提案が考慮されるようにする必要があります。私は、オブザーバーやその他のステークホルダーの参加を奨励するとともに、締約国に対し、ここ COP26 での議論に彼らのアイデアを取り入れることを求めます。

私たちは皆、同じ気候変動の緊急事態に直面しています。私たちは皆、解決策の一部にならなけれ

ばなりません。

同僚の皆様

私たちが必要としている移行は、人類がこれまでに成し遂げてきたことの範囲、規模、速度を超えるものです。気が遠くなるような作業ですが、人類はその創意工夫によって定義される種族です。

今から2世紀以上前、産業革命によって世界は一変しました。

それは当時のテクノロジーとイノベーションによってもたらされた時代でしたが、同時に、経済的・社会的な分断、環境破壊、気候変動などの影響が残った時代でもありました。

私たちは、歴史の教訓を学ぶことができ、また学ばなければなりません。私たちの時代を、少数の人々の短期的な利益ではなく、多数の人々の繁栄によって定義される時代にしましょう。

自然とのより健全な関係を築く時代にしましょう。私たちが土地、海、生物多様性を守る時代にしましょう。グラスゴーをこの新しい時代、つまりレジリエンスの新時代の出発点とし、COP26でその始まりを宣言しようではありませんか。

それは完全に私たちの手の届くところにあります。しかし、そこに到達するには、ここでの私たちの仕事完了するかどうかにかかっています。パリ協定の完全な実施にかかっています。そして、より多くの気候変動対策が必要です。それは皆さんにかかっています。私たち全員にかかっているのです。

同僚の皆様

この2週間でみなさんに課せられた課題は重大です。しかし、ここまで来るために皆さんが成し遂げたことを見てください。成功は十分に可能です。

ぜひ、大局的な視点で考えてみてください。具体的な議題を超えて、私たちが一緒に成し遂げようとしていることに目を向けていただきたいのです。私たちがしなければならない選択、そして何十億もの人々から託されたあなたへの信頼を考えてみてください。

私たちの世代だけでなく、将来のすべての世代のために成功を収めるために、歴史上の重要なポイントであるこの時代の大きな課題に立ち向かいましょう。

ありがとうございました。

原文

Honourable guests

Distinguished delegates,

Ladies and gentlemen

Our long wait is over.

It is with joy and enthusiasm that I officially welcome you to COP26. I thank the outgoing COP Presidency of Chile — especially Minister Schmidt — for their leadership in the last two challenging years.

I also officially welcome the incoming UK Presidency and Minister Sharma. I thank you for your collaborative efforts and as we work to make COP26 a success. To all of you I say this: congratulations. Congratulations to those in this room, those watching online and to everyone involved in this process.

Think back on the last two years since we last met in Madrid: the early confusion — the pandemic and what it could mean for our process. Think about the decisions we made together, the skills we developed together to take advantage of communication technologies!

Think also of those we lost to COVID-19 — our hearts are with those who continue to suffer. But let us also acknowledge what we've accomplished: we have kept the process going, we have not let pandemic stand in the way of addressing the most critical issue facing this generation and those to come.

We are here because of you and your work. From the bottom of my heart — thank you. Let's ensure that work was not in vain.

As Scottish poet Robert Burns once wrote: "now is the day, now is the hour".

Colleagues;

We stand at a pivotal point in history. Humanity faces several stark but clear choices. We either choose to achieve rapid and large-scale reductions of emissions to keep the goal of limiting global warming to 1.5C— or we accept that humanity faces a bleak future on this planet.

We either choose to boost adaptation efforts to deal with current extreme weather disasters and build resilience to address future impacts — or we accept that more people will die, more families will suffer, and more economic harm will follow.

We either choose to recognize that business as usual isn't worth the devastating price we're paying and make the necessary transition to a more sustainable future — or we accept that we're investing in our own extinction.

It is about much more than environment, it is about peace, stability and the institutions we have built to promote the wellbeing of all. It is for these reasons and more that we must make progress here in Glasgow.

Colleagues;

Success at COP26 is entirely possible. Success is possible because we have the platform for action. The Paris Agreement is a covenant of hope with humanity.

It has everything we need to achieve our climate goals. But to fully unleash its potential we need full implementation. To get there, Parties must finalize outstanding work under the Agreement that has remained unfinished for far too long.

Every day that goes by without being able to implement the Paris Agreement in full is a wasted day — the accumulation of which have real-world repercussions for people throughout the world, especially the most vulnerable.

I call upon Parties to complete the necessary work here at COP26 that will move us towards full implementation. Success is possible because we already know the pathway to solutions.

The recently-updated UN Climate Change NDC Synthesis Report showed that emissions continue to rise. That's the bad news. The good news is it also showed that for those nations providing a new and updated NDCs, emissions are projected to decrease by 2030.

But we need even more ambition and all nations on board, especially the highest emitters in the G20 responsible for around 80 per cent of global emissions.

We also need to see provision of support to developing nations — another cornerstone of the Paris Agreement. With adequate support, emissions reductions can potentially be higher. This relates to the commitment to mobilize \$100 billion from developed nations to developing.

The delivery plan announced last week should be seen as a start, not the end. It's important to follow through with more detail and concrete actions. But let us be clear: without the necessary support we will not be able to embark on the transformations needed to achieve the 1.5-degree goal. This is not only about the 100 billion. We need to mobilize the trillions.

With respect to adaptation, we need to significantly increase financial support, especially for the most vulnerable countries. We also need to accelerate the development and implementation of National Adaptation Plans.

A clear path to solutions exists. I call upon all Parties to recapture the spirit of multilateralism that resulted in the adoption of the Paris Agreement and fulfill their commitments under it.

Success is possible because we have the science. The data is unequivocal: climate change is widespread, rapid, intensifying and already impacting every region on Earth, both on land and in the oceans.

But one number stands out above all others. We must limit global temperature rise to 1.5C by the end of the century. The IPCC, the NDC Synthesis Report and the Emissions Gap Report all tell us, however, that we're not on that path.

I call upon all Parties to use science to inform their decisions at COP26 and act upon it. Studies and statistics tell one story, but we must look beyond the numbers to the human lives they represent.

I have been to the small island states threatened by rising waters. I've talked to school children frightened for their futures. I've talked to women who bear the burden of climate change at home but are shut out of the search for solutions the minute they walk out the door. I've talked to youth frustrated with what they see as a bleak future.

The message they all have in common is this: they want to be included. They are right. If we are sincere in calling climate change a global issue, then total inclusion must be the foundation upon which this process is built.

COP26 needs to ensure that all voices and proposals are considered. I encourage the engagement of observers and other stakeholders and I call upon Parties to incorporate their ideas in the discussions here at COP26.

We are all facing the same climate emergency. We must all be part of the solution.

Colleagues;

The transition we need is beyond the scope, scale and speed of anything humanity has accomplished in the past. It's a daunting task, but humanity is a species defined by its ingenuity.

More than two centuries ago, the world was completely transformed by the Industrial Revolution.

It was an era driven by the technology and innovation of their day, but also one with the residual impacts of greater economic and social division, environmental damage and climate change.

We can and must learn the lessons of history. Let ours be an era defined by the prosperity of the many, rather than the short-term gain of the few.

Let ours be an era in which we have healthier relationships with nature. Let ours be an era in which we protect our land, oceans and biodiversity. Let Glasgow be the starting point of this new era — this new Age of Resilience — and let COP26 mark its beginning.

It's entirely within our grasp. But getting there depends on the completion of our work here. It depends on the full implementation of the Paris Agreement. It depends on more climate action. It depends on you. It depends on all of us.

Colleagues

The task ahead of you in these two weeks is significant. But look at what you've accomplished just to get this far. Success is entirely possible.

I encourage you to keep the big picture in mind. I encourage you to look beyond your specific agenda item to what we're trying to achieve together. I encourage you to consider the choices that we must make, and the trust vested in you by billions.

Let us rise to the enormous challenge of our times, this pivotal point in history — and achieve success for not just our present generation, but all generations to come.

Thank you.

Institute for Global Environmental Strategies (IGES)

Strategic Management Office (SMO)

2108-11 Kamiyamaguchi, Hayama, Kanagawa, 240-0115, Japan

Tel: 046-855-3700 E-mail: iges@iges.or.jp

<https://www.iges.or.jp/>

The views expressed in this working paper are those of the authors and do not necessarily represent IGES.

©2021 Institute for Global Environmental Strategies. All rights reserved.